

【知識及び技能】 書の表現に関する知識を理解するとともに、用筆・運筆や字形、構成などの技能を身に付け、表現の意図に応じて適切に用いる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞や創作の活動を通して、表現の意図をもって構想を立て、書のおよさや美しさを生かして工夫し、表現するとともに、作品の価値や特徴を捉え、根拠をもって言葉で伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 芸術を生涯にわたって愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の伝統や文化、古典の特徴（用筆・結構・章法）について理解するとともに、臨書等を通して基礎的・基本的な技能を身に付け、意図に応じて表現できるようにする。	感性や想像力を働かせて主題を設定し、古典を踏まえて構想を練り、創造的に表現するとともに、作品のよさや美しさを感じ取り、表現に生かす力を養う。	書の表現や鑑賞に主体的に関わり、自ら課題を設定して探究的に学習に取り組み、試行錯誤しながら表現を高めようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		漢 仮	漢 字							
一 学 期	<p>■書の多様性の理解と鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書の多様な表現や古典作品について鑑賞を通して理解し、書に対する関心を高める。</li> <li>・書風や表現の違いに気づき、その特徴を言葉で捉える力を養う。</li> <li>・今後の学習に向けて、自身の関心や課題を見いだそうとする力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・文房四宝の扱い、姿勢、執筆法の確認</li> <li>・古典作品の鑑賞（複数の書風の比較）</li> <li>・書風の観察（線質、字形、構成、全体の印象）</li> <li>・書家や作品の基礎情報</li> <li>・ワークシートを用いた気づきの整理と言語化</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書の多様な書風や表現の違いについて理解している。</li> <li>・用具や基本的な筆の扱いについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞を通して書風の特徴に気づき、言葉で表現している。</li> <li>・作品の違いやよさについて、自分の考えを持って捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現や古典に関心をもち、鑑賞や活動に取り組んでいる。</li> <li>・自身の関心や課題を見いだそうとしている。</li> </ul>	○	○	○	10
	<p>■書の基礎と表現の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典臨書を通して、用筆、結構、章法などの基礎的な技能を再確認し、表現の基盤を確立する。</li> <li>・主体的に課題に向き合い、試行錯誤しながら表現を深める。</li> </ul> <p>■古典の比較と表現への応用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書、行書、草書の特徴を理解し、違いを意識しながら表現の幅を広げる。</li> <li>・複数の古典作品を比較し、それぞれの書風や表現意図を理解する。</li> <li>・古典の特徴を踏まえ、自らの表現に応用する力を養う。</li> <li>・鑑賞や言語化を通して、表現に対する理解を深める。</li> <li>・臨書を通し、書家について進んで調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作</li> <li>・臨書（複数の古典）</li> <li>・形臨（古典の特徴を活かした表現）</li> <li>・書風の分析</li> <li>・書家についての調査（生涯、時代背景、作風）</li> <li>・作品成立の背景（文化、思想）</li> <li>・調査内容の共有</li> <li>・鑑賞レポート作成</li> <li>・古典作品の比較鑑賞（楷書、行書、草書）</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の特徴を理解し、書風の違いを再現できる。</li> <li>・基本的な筆使いを身に付け、安定した表現ができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴を意識して表現している。</li> <li>・書風の違いや表現の特徴を比較し、自身の課題を捉えている。</li> <li>・書家や作品の背景を踏まえて、その特徴や価値を考察している。</li> <li>・調査した内容を基に、表現意図に応じた工夫を行っている。</li> <li>・自分の考えを言葉や作品で適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じて自ら問いを立て、臨書、調査、表現活動に取り組んでいる。</li> <li>・調査結果を基に、自身の表現を見直し深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	22
二 学 期	<p>■古典の理解を踏まえた表現の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の復習と特徴の整理</li> <li>・意臨（古典の特徴を生かした表現）</li> <li>・表現の工夫（線質、字形、構成）</li> <li>・テーマに基づく作品制作</li> <li>・調査活動（必要に応じて書家や表現の研究）</li> <li>・試作と改善</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の復習と特徴の整理</li> <li>・意臨（古典の特徴を生かした表現）</li> <li>・表現の工夫（線質、字形、構成）</li> <li>・テーマに基づく作品制作</li> <li>・調査活動（必要に応じて書家や表現の研究）</li> <li>・試作と改善</li> <li>・振り返り</li> </ul>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の特徴を理解し、それを表現に生かしている。</li> <li>・意図に応じた書風や表現方法を理解し、筆使いや構成を工夫して作品に生かし、表現として成立させている。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに基づいて構想を立て、表現意図を明確にしている。</li> <li>・試作や振り返りを通して、表現を発展させている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、主体的に制作に取り組んでいる。</li> <li>・自身の表現を見直し、向上させようとする表現活動に取り組んでいる。</li> </ul>	○	○	○	26
	<p>■テーマに基づく表現の探究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現テーマを設定し、それに基づいた構想を立てる力を養う。</li> <li>・古典の理解やこれまでの学習を踏まえ、主体的に作品制作に取り組む。</li> <li>・表現意図を明確にし、それを作品として具体化する力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ設定（言葉、内容の選択）</li> <li>・構想（書風、構成、表現方法の計画）</li> <li>・作品制作（試作→改善→完成）</li> <li>・表現の工夫（余白、バランス、線質など）</li> <li>・振り返りと自己評価</li> </ul>	○	○	○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、主体的に制作に取り組んでいる。</li> <li>・自身の表現を見直し、向上させようとする表現活動に取り組んでいる。</li> </ul>	○	○	○	26

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢 字	仮 名					
三 学 期	<b>■自己表現の深化と発信</b> ・これまでの学習を生かし、自己の表現を深める。 ・作品の意図や工夫を言語化し、他者に伝える力を養う。 ・他者の表現を尊重し、相互に学び合う態度を育てる。	・作品制作（発展、仕上げ） ・作品の解説文作成 ・鑑賞・講評会（相互評価） ・発表活動 ・振り返り（年間の学びの整理）	○	○	○	<b>【知識及び技能】</b> ・これまでに身に付けた技能を活用し、安定した表現ができる。 ・意図に応じた表現方法を適切に用いている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・作品の表現意図や工夫を明確にし、言葉で説明している。 ・他者の作品のよさや違いを理解し、考えを深めている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・自己の表現を見直し、よりよい作品を目指している。 ・他者との関わりを通して学びを深めようとしている。	○	○	○	20
									合 計	78